

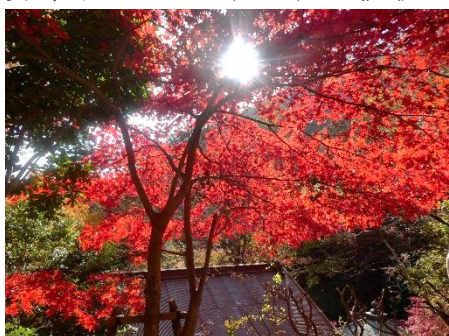


関八州を展望・阿夫利神社が鎮座する 快晴・紅葉・絶景の大山登山を満喫！？

歴史ある信仰の山に挑戦

今回は推進ニュースの趣旨と違いますが大山登山での赤羽組合員の顛末を紹介します。

大山は標高 1252mの手ごろな登山コースとして親しまれ、江戸の昔から大山詣での人々で大いに賑わった歴史ある信仰の山です。好天に恵まれた 2018 年の師走初日、神奈川県南支部委員長の佐藤さん夫妻と大島書記長、私たち赤羽夫妻の 5 名が神奈川県伊勢原市にある大山登山に挑戦しました。



晩秋の光を浴びて鮮やかに輝く紅葉
予定から大幅に遅れて登頂

大きな石が不規則に連なる急こう配がつづき体力が奪われます。展望が開けたところで富士山の雄姿も望めますが眺める余裕もありません。小休止を繰り返すうちに妻を含むなかまの姿は見え、ヒール履きの若い女性がスイスイと登って行きます。なかまから遅れて頂上に辿り着いた時間は予定時刻を 45 分もオーバーしていました。突然足が！……

私の山頂での休憩は束の間で終わり、追われるように下山です。妻を含め、なかまは急峻で険しい道を軽快に下っていきます。私も遅れまいと足を急がせていたそのとき、突然激しい痛みが両足太ももの裏側に走って動けなくなりました。足を伸ばすことも曲げることもできません。足の攣（つ）りです。やっと足を動かすことができるようになりましたが、その後も度々足が攣って休憩を繰り返す最悪の状態がつづきます。



紅葉の阿夫利神社下社付近で撮影

汗が止まらない

私たちは登山口のバス停を午前 9 時 15 分に出発“こま参道”と呼ばれる石段の道を登ること約 15 分で登山道入口に到着しました。ここで私は既になんかの汗です（更年期障害らしい）。ここからの女坂も階段が続き汗は止まりません。それでも大山寺（奈良の東大寺を開いた良弁僧正が西暦 755 年に創建）などの鮮やかな紅葉に癒されて標高 700m 地点の阿夫利神社の下社に到着。ここから頂上までは 90 分です。



なんとか登頂をはたしなかまと記念撮影

組織名 署名種類	内外 液輸	福岡 運輸	田中 製菓	イワ サワ	中日 臨海	高橋 運輸	扶桑 運輸	三昭 運輸	ギオ ン	東進 産業	日酸 運輸	三浦 観光 バス	合同 分会	味の 素班	県南 支部	地方 地域 部会 他		集計日
核兵器廃絶を 求める署名	29	5	61	3		16	12	40	8	10			33		54	5	276	11月13日
	29	5	61	3		16	12	40	8	10			33		54	5	276	12月8日
9条改憲NO！ 3000万署名	20		5	5	10	28	11	30	5				45		22		181	11月13日
	20		5	5	10	28	11	30	5				45		22		181	12月8日
味の素物流の 畠野さん署名	38	2	3	13	3	10	18	45	6	3			11	34		682	868	11月13日
	38	2	3	13	3	10	18	45	6	3			11	34		855	1041	12月8日
三昭運輸分会 団体署名	2	1	1	1	1	1	1	14	1	1			2		1	50	77	11月13日
	2	1	1	1	1	1	1	14	1	1			2		1	63	90	12月8日
三昭運輸分会 個人署名	40	2	5		14	7	20	55	10	7			7			597	764	11月13日
	40	2	5		14	7	20	55	10	7			7			627	794	12月8日
トラック団体署名						1							1	1	1		4	12月8日
トラック個人署名	15		4		5	12	5	10	6				5		15	20	97	12月8日
19春闘トラックアンケート	1					1	2			7						/	11	12月8日
19春闘一般アンケート			15				1	1								/	17	12月8日
酸素部会アンケート																/		12月8日